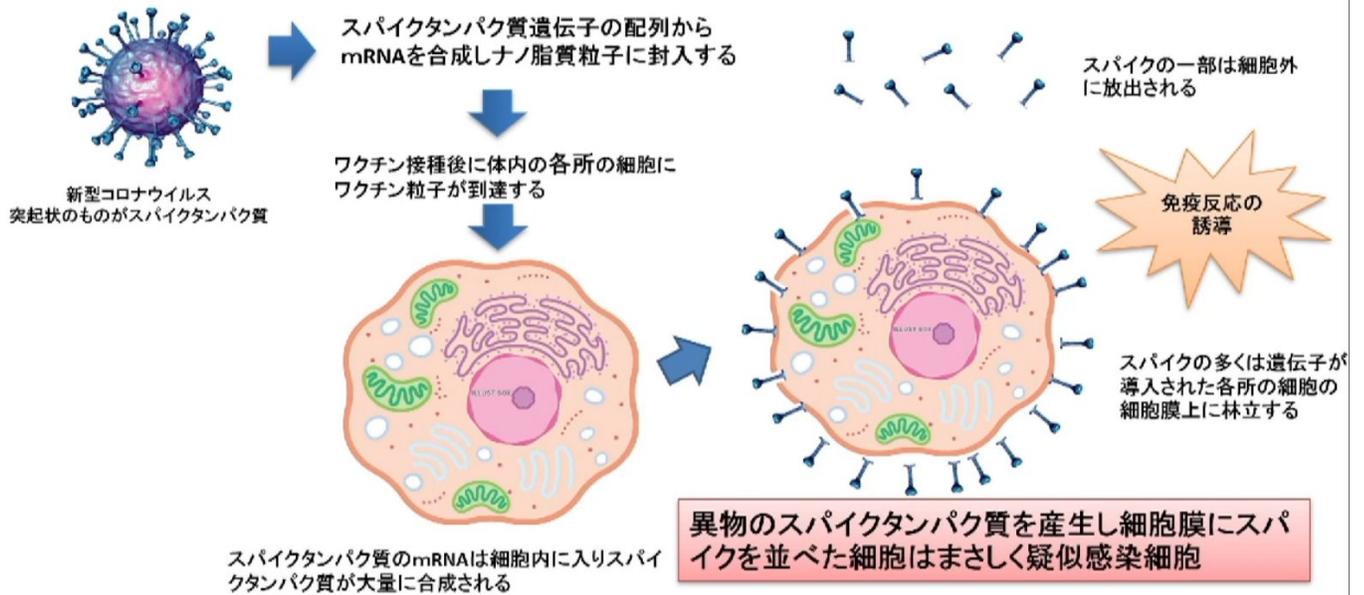


mRNA型ワクチンにおける抗体誘導のメカニズム



15



- 全身でスパイク発現、キラーT細胞による細胞傷害(破壊)
- 同じく全身へのNK細胞による抗体依存性細胞傷害ADCC
- 接種時の免疫抑制、他の感染症や癌の進行
- 頻回接種(今後はレプリコン)でIgG4化、免疫寛容、血栓
- スパイク標的でADE
- 図は東京理科大学名誉教授の村上康文先生作成

図 5-3-4: 設計ミスの作用機序